

テーマ：女性団体の活性化

「悩み」に対するグループワークを通して伝えたいこと

- ①若い人の参加が少ない …団体の活動内容を理解できていない。
- ②会員の増員が難しい …多くの人に声をかけ、各団体の事業内容を知ってもらう。声かけが大事。一人でも多くに話しかけ勧誘。
- ③会員自身の健康管理 …笑顔で一言、人と人との交流、体を楽しく動かす。
- ④会員が忙しい …持続していくことが大切。

個人単位でできること	自分の所属する会員とどう進めていきたいか	女団連として、どんな支援・行動ができるか、環境づくりを女団連学習会等 記録
<ul style="list-style-type: none"> ・活動のPR。(団体の活動、活動が楽しいこと、勉強になるということ等) ・同世代の集まりを持っているグループに参加を勧める。 ・機会があるときに声かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあるものに子どもと一緒に、それぞれの団体の理解をしてもらう。 ・活動の内容を説明して参加を勧める。 ・活動の日程を考慮する。 ・お互いに協力し仲良くし、楽しいと思えるようにする。 ・参加できない方の理由を吸い上げる。 ・改善できることがあるか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム活動を積極的に行き、小単位のグループ作りをしていく。 ・若い人にアンケートを実施。 ・いいところを周知する。 ・参加してみたいと思える活動を企画する。 ・参加してみて良かったと思える活動にする。 ・町ホームページの活用。
<ul style="list-style-type: none"> ・行事がある時は運転して何人か乗せていく。 ・身近な人に声をかけ、活動を理解してもらい、のちに後継者として育てもらう。 ・会員の方からの声かけは入会のきっかけになる。魅力あることを声かけ続ける。 ・役員は底辺まで連絡することが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的をはっきりして確実に進める学び・奉仕・楽しみ・発進力の強化。 ・目標を設定する。 ・楽しいことを広める。(簡単なレシピやハンドメイド) 作ったものは見せて、「こんなことやってるから、よかったら入会を」と、勧誘する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・嫁に参加できる環境を積極的に作る。 ・現在、女団連として親睦を図るため、研修旅行とかを行い、交流を深めたい。 ・各団体が集まって話し合いの場を作る。 ・講演会などの設定の時に一般の人にも参加。 ・女団連より各団体の実績を広報等で報告。 ・作品やハイキング・運動など計画を立てたことを広く見せる。
<ul style="list-style-type: none"> ・後継者と新しい会員が少ないので会員として皆様への声かけと協力。 ・健康管理、フレイル、自分でできることは積極的にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会の実施。 ・集まりやすいイベントなど、雰囲気を作る。 ・会へ出てこない方に、声かけをする。 ・今後(未来)のことを考えて、皆で話し合う。 ・若い人との交流が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共生の流れにしてほしい。(男性の協力) ・青年の集まりを作り、女団連で支援する。 ・男性及び青年の方々の交流も欲しい。 ・ゴミについて女団連でも考えて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り参加する。 ・孫の送迎の時間帯を除けば参加できる。 ・サークル等で忙しい人もいるので時間調整が必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する事業をローテーション化する。 ・広報を通して若い人たちへ参加を呼びかけ。 ・楽しい活動や行動を考える。 ・日赤の場合、役員以外の会員と集会を持ちたい。小学校単位で小学生と一緒にハイゼックなどの実習をしてみたい。避難食などのレシピがあるので、それに沿って料理教室を開く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報や学校への呼びかけを通して子育て(子育ての悩み)への支援。 ・SDGsの取り組みへの興味を持ち、実現への支援。 ・文化歴史(祭り・地域に伝わる料理)等の伝承。 ・女団連主催で町民全員が参加できるようなイベントを開催したい。(芋煮会…特定の人ができるのではなく皆で作業に参加してもらう) ・広報等で活動を紹介。 ・SDGsの活動を進めていくことが必要。